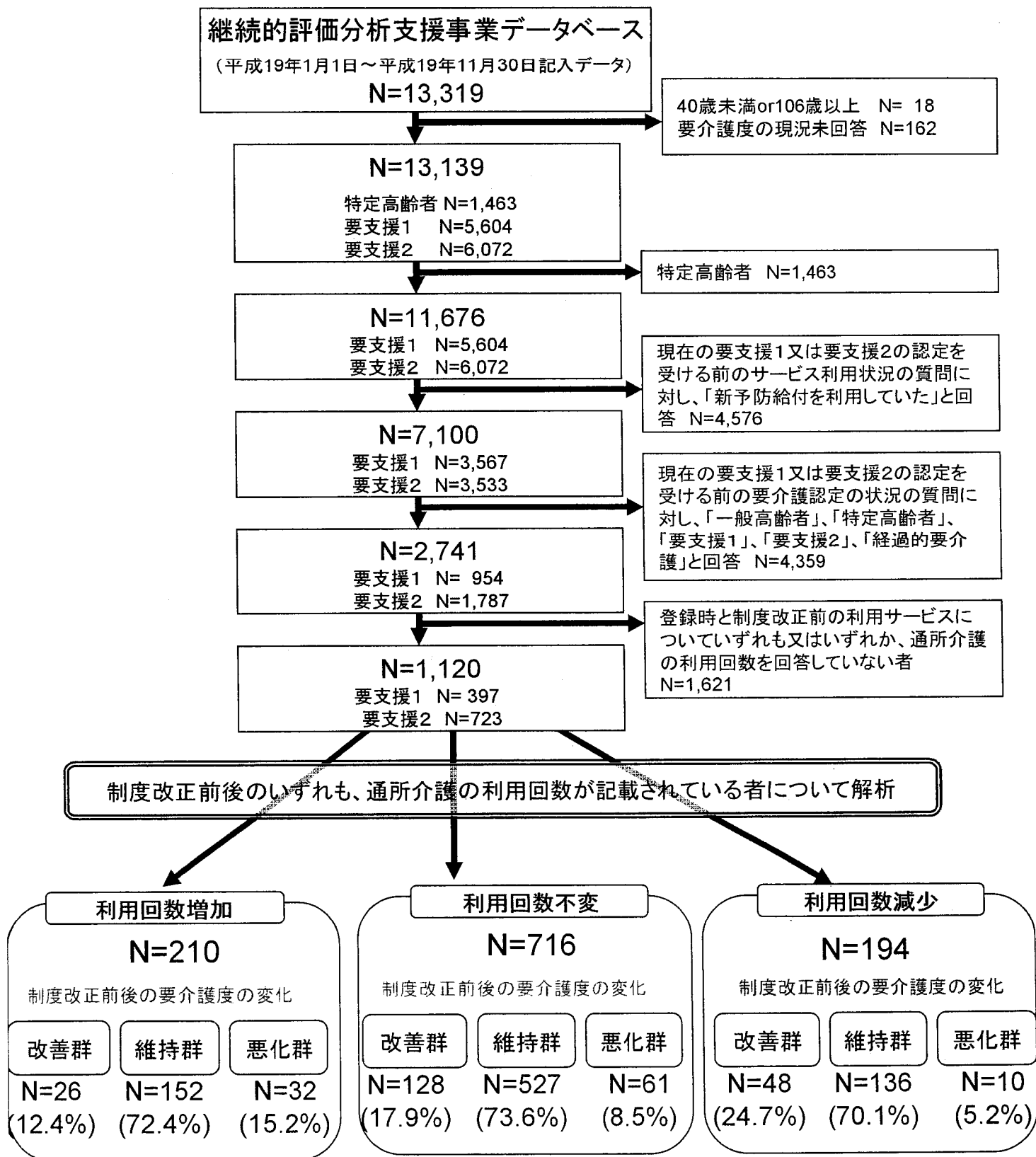


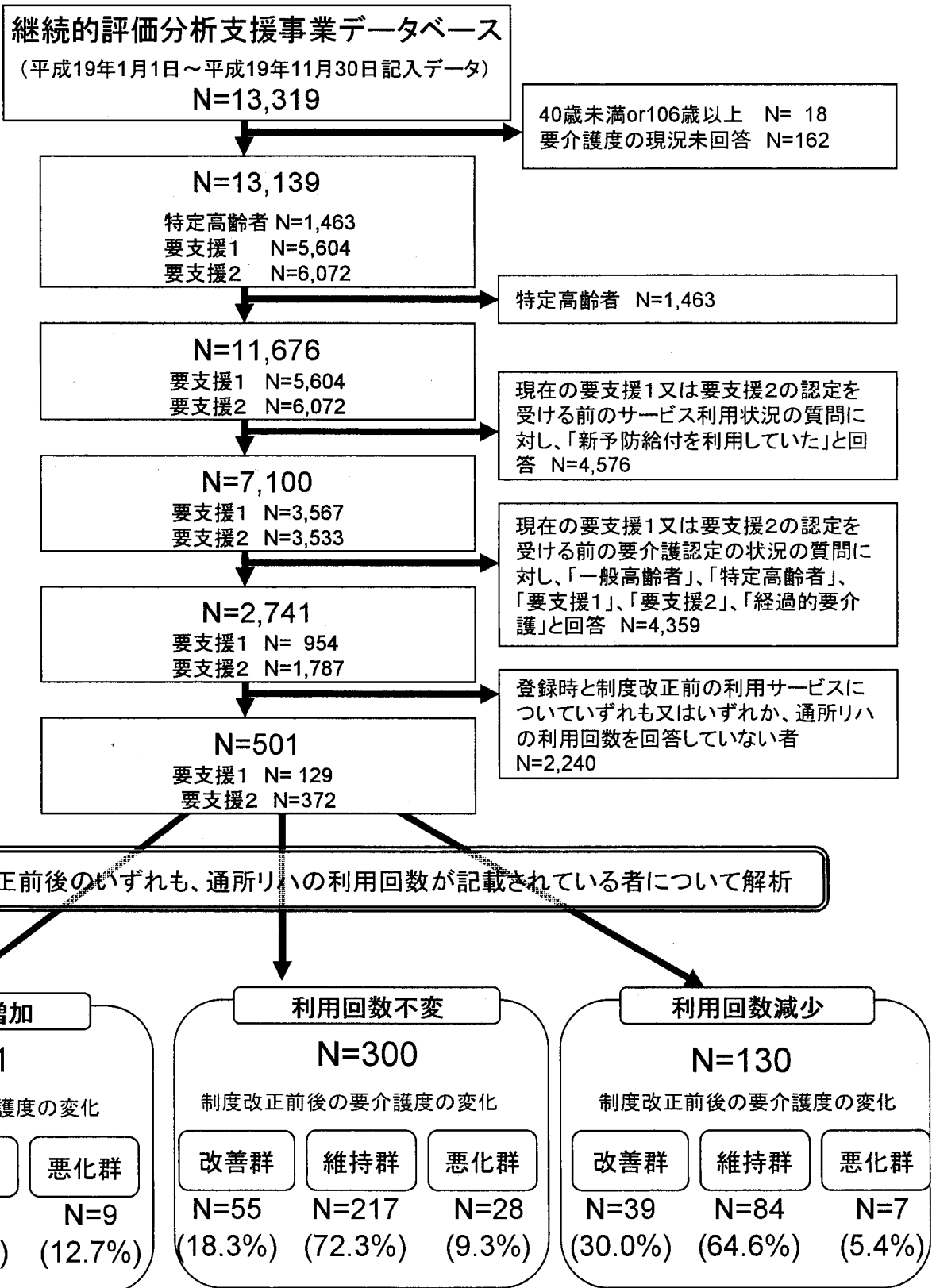
介護予防サービスの利用回数の変化ごとの介護度の変化について(図)
《通所介護の利用回数のみを使用》



※改正前の要介護度やサービス利用回数については、登録時に、対象者から聞くという方法で行った。

※カイ2乗検定(3×3)の結果、要介護度の変化(改善・維持・悪化)と利用回数の変化(増加・不変・減少)との間に統計学的に有意な関連があった。(p=0.0003)

介護予防サービスの利用回数の変化ごとの介護度の変化について(図) 《通所リハビリテーションの利用回数のみを使用》

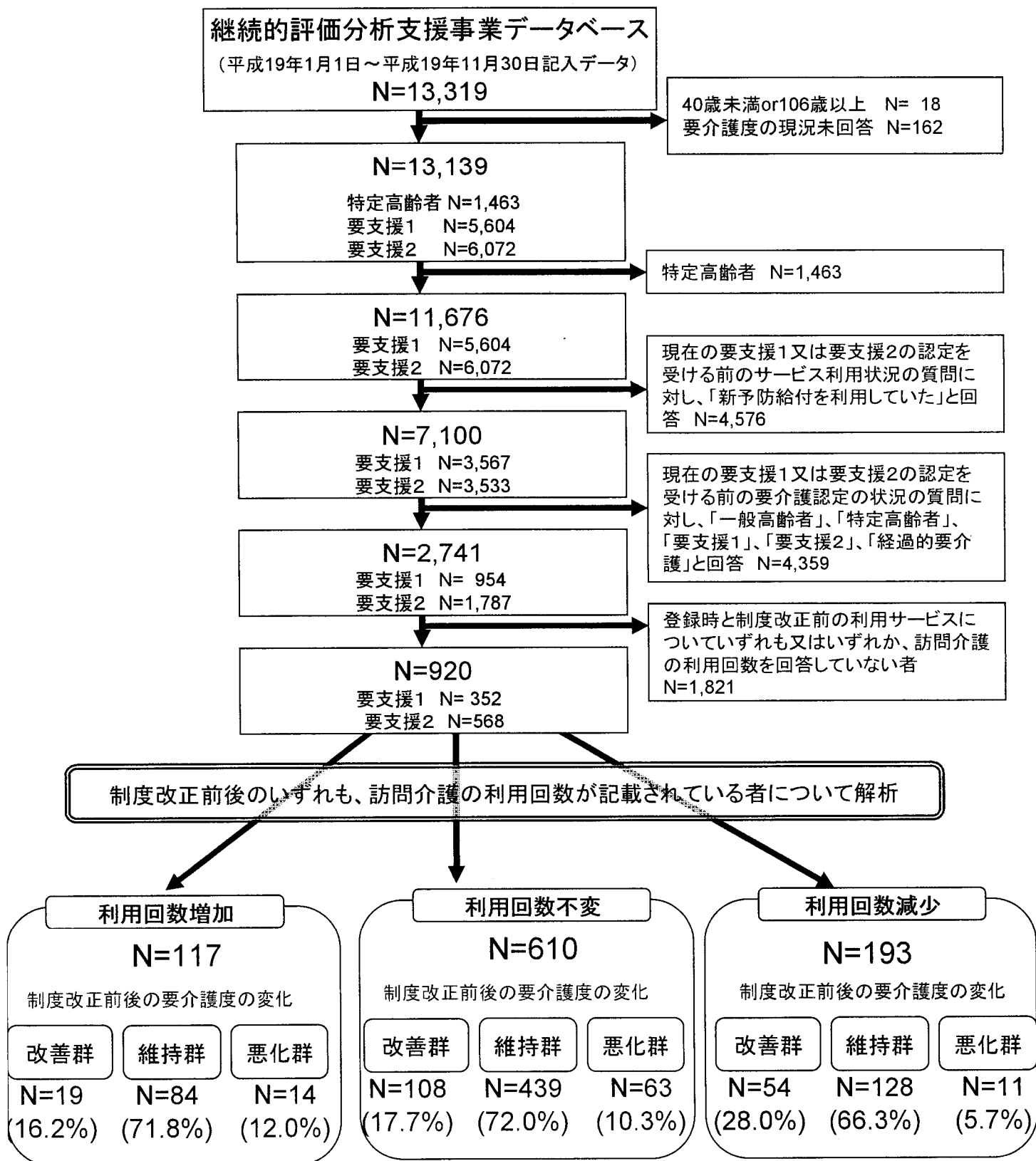


※改正前の要介護度やサービス利用回数については、登録時に、対象者から聞くという方法で行った。

※カイ2乗検定(3×3)の結果、要介護度の変化(改善・維持・悪化)と利用回数の変化(増加・不変・減少)との間に

統計学的に有意な関連があった。(p=0.0204)

介護予防サービスの利用回数の変化ごとの介護度の変化について(図) 《訪問介護の利用回数のみを使用》

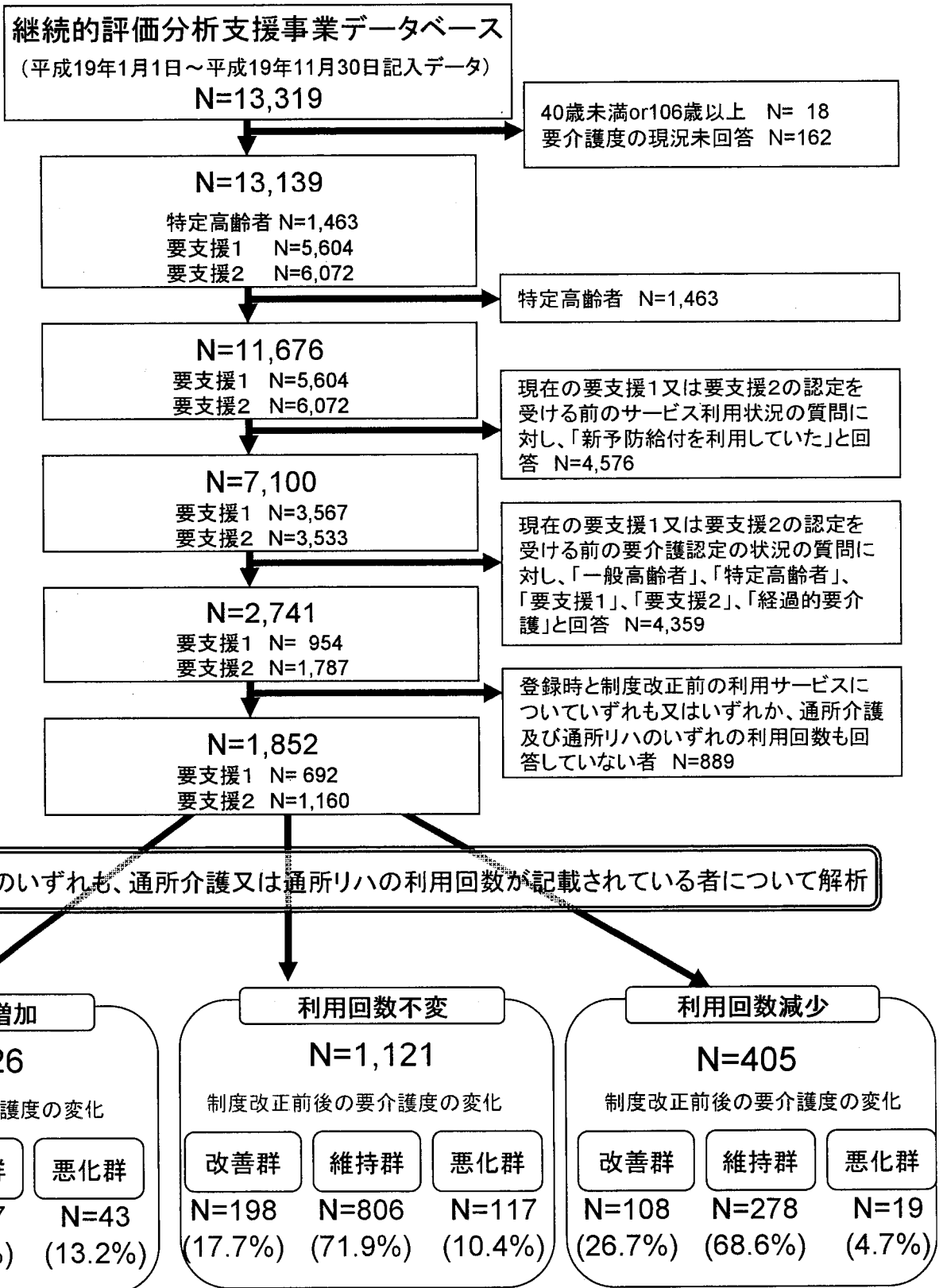


※改正前の要介護度やサービス利用回数については、登録時に、対象者から聞くという方法で行った。

※カイ2乗検定(3×3)の結果、要介護度の変化(改善・維持・悪化)と利用回数の変化(増加・不変・減少)との間に

統計学的に有意な関連があった。(p=0.0093)

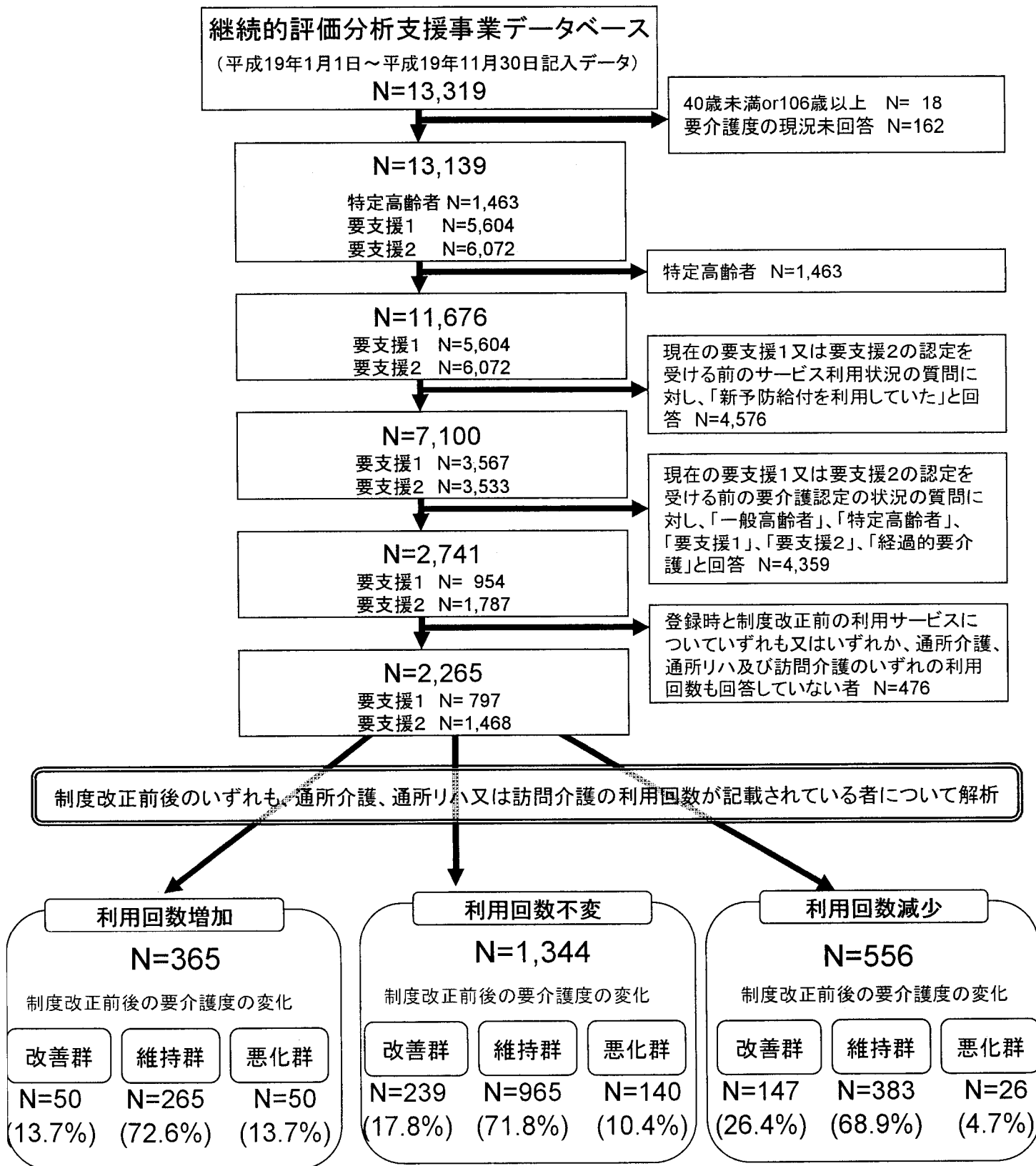
介護予防サービスの利用回数の変化ごとの介護度の変化について(図) 《通所介護及び通所リハビリテーションの合計利用回数を使用》



※改正前の要介護度やサービス利用回数については、登録時に、対象者から聞くという方法で行った。

※カイ2乗検定(3×3)の結果、要介護度の変化(改善・維持・悪化)と利用回数の変化(増加・不変・減少)との間に統計学的に有意な関連があった。(p<0.0001)

介護予防サービスの利用回数の変化ごとの介護度の変化について(図) 《3サービスの合計利用回数を使用》



※改正前の要介護度やサービス利用回数については、登録時に、対象者から聞くという方法で行った。

※カイ2乗検定(3×3)の結果、要介護度の変化(改善・維持・悪化)と利用回数の変化(増加・不変・減少)との間に

統計学的に有意な関連があった。(p<0.0001)